

「下宇川地域の話し合い活動の手法の検討」

(京都府京丹後市丹後地区定例会)(令和元年度10月)(第14回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年10月3日 18:00~19:30
- 場 所: 京丹後市役所丹後庁舎
- 出席者: 委員2人、最適化推進委員3人(欠席1人)
委員以外: -人
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 竹野川両岸の水田地帯と沿岸の水田農業が中心
- 大規模経営法人と担い手農家による水田経営が展開されている
- 宇川地域で再び場整備事業がスタートして受けて法人の設立が課題

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 定例会審議案件の概要報告と意見書の内容報告
- 市議会一般質問事項の形状変更の届出に関する委員会の対応内容について報告
- 形状変更の届出は農地の形状を変えて耕作する届出で非農地などに残土を盛り土する行為は建設部所管の「開発協議申請」である点を助言説明
- 11月実施予定の下宇川地域の話し合い活動について事前協議にワークショップ方式を助言説明
- 話し合い活動の体験練習を11月7日の地区定例会で実践することとなる
- 上宇川地区のほ場整備事業に伴う法人設立の進捗報告
-

4 活動結果

- 情報・意見交換 **1.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援